



**2019年3月期 第1四半期
決算補足説明資料**

2018年 7月31日 (火)

**ウェーブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
(東証一部)**

■ 売上高 7,577百万円 (前年同期比 Δ 0.9%)

- ・ 期初業績予想に対しての進捗は順調
- ・ ほぼ前年同期並みを達成

■ 営業利益 569百万円 (前年同期比 Δ 23.5%)

- ・ 期初業績予想に対しての進捗は順調
- ・ 原材料価格高騰等のコストアップ分の十分な売価への転嫁に今暫く時間が掛かることと、新規プロジェクトの立ち上げ費用負担増等から前年同期比で Δ 23.5%

■ 原材料価格

- ・ 原材料価格は引き続き高値で推移し利益を圧迫するも、期初計画の想定範囲内

■ 今後の見通し

- ・ コスト削減努力を継続すると共に、コストアップ分の売価転嫁を押し進めることで収益の改善を図り、加えて新規プロジェクトの早期収益化に努める
- ・ 期初業績予想の通り、売上では前年度達成した過去最高売上高を越え、利益面では前年度達成した過去最高営業利益並みの数値を目指す

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	2019年3月期 第2四半期 累計(予想)	進捗率
売上高	7,649	7,577	△ 72	△0.9%	14,400	52.6%
営業利益	744	569	△ 175	△23.5%	900	63.3%
経常利益	824	707	△ 116	△14.1%	1,070	66.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	598	506	△ 92	△15.4%	790	64.1%
1株あたり 当期純利益※	61.41	50.61	—	—	80.31	—

※：発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により計算しています。期中平均株式数は、2018年3月期第1四半期は9,743,865株、2019年3月期第1四半期は10,000,276株、2019年3月期第2四半期累計は、9,837,123株(予想)です。

インテリア事業 (売上高+3.5%、営業利益△14.3%)

- (株) サンゲツの壁紙見本帳、とりわけ量産見本帳への当社グループ製品の掲載点数増加が売上高増に寄与
- 一方、中級品において一部見本帳の配布遅れによる計画比減があったものの、売上高は前年同期比で3.5%増を達成
- 原材料価格や物流費の高騰が利益を圧迫、第2四半期以降は早期の価格転嫁に尽力

産業資材・包材事業 (売上高：+1.3%、営業利益：△21.3%)

- 産業資材分野においては、建設および住宅関連業界向けの販売は堅調
- しかしながら、ここでも原材料価格の高騰が利益を圧迫
- 加えて、相対的に利益率が高めのこの数年で上市した製品が低調
- 第2四半期以降は、コストアップ分の価格転嫁に一層の尽力

編織事業 (売上高：△5.2%、営業利益：△20.0%)

- 生活資材分野における網戸用品および農園芸用品は、このところの異常気象や、一部取引先統合による商圈逸失が影響し売上が低調に推移
- 相対的に利益率の高い生活資材分野の売上高低調に加え、物流費等のコストアップが利益を圧迫
- 猛暑のもとでの売上増、および、引き続きのコスト削減に努め、通期での期初計画達成を目指す

アバンステクノロジー事業 (売上高：△2.0%、営業利益：△34.1%)

- 金属調加飾フィルム分野においては、東南アジアにおけるエンブレム販売が前期からの伸びが一服。加えて、国内家電向けの一部取引において取引先の在庫調整による売上高減が影響し営業利益減
- 6月に新設した名古屋工場におけるシート加工工程は先行費用負担があるが、生産の正常化、安定化に目処。早期黒字化を目指す
- 予定通り米国デトロイトに販売子会社を設立。立ち上げ費用負担はあるものの、現地法人による効果が出始める
- PMMA/PC2層シートは、前年度続いた生産トラブルが収束し収益改善へ

(単位：百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年比 増減	前年比 増減率
売上高	7,649	7,577	△72	△0.9%
インテリア	2,173	2,250	+76	+3.5%
編織	2,836	2,688	△148	△5.2%
産業資材・包材	2,346	2,377	+30	+1.3%
アドバンステクノロジー	842	824	△17	△2.0%
その他・消去	△549	△562	△13	
営業利益	744	569	△175	△23.5%
インテリア	215	184	△30	△14.3%
編織	428	342	△85	△20.0%
産業資材・包材	128	101	△27	△21.3%
アドバンステクノロジー	60	39	△20	△34.1%
その他・消去	△88	△99	△10	

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。